

### どうなる？ 日本語

この通信は、不定期ですが、  
月2回ほど発行します。

先日通過していった台風は、ずいぶんと爪痕を残していったようです。日向市も、中心部や山間部を中心に水害や土砂災害に見舞われたようです。皆様のところは大丈夫だったのでしょうか。

本校は、幸いにも被害がなかったのも、その後の運動会練習は予定通りに進めることができています。一貫校になって初の9月実施ですが、メリットが大きいような気がします。子どもたちも、暑さが残る中でかなり頑張ってくれていますので、当日をお楽しみに(´▽｀)

ところで、先日のニュースで「ら抜き言葉」を使う人の割合が半数を超えたことが報じられました。

正「初日を見られた」（見ることができた）

誤「初日を見れた」

正「辛いものでも食べられる」（食べることができる）

誤「食べれる」

校長は、この「ら抜き言葉」には違和感を覚えます。また、パソコンで変換しようとする「ら抜き表現」という注意が出てきます。

学校では、正しい使い方を指導しているはずなのですが、これが浸透しない現状に少しがっかりしています。

ただ、古代にさかのぼってみると、これまでも日本語は「変化」してきました。

☆ 母音・・・現在は「あ・い・う・え・お」の5つですが、奈良時代以前は8つあったとか(「。」「;」)  
(「い」・「え」・「お」にはもう一つの音があったようです)

☆ 発音・・・奈良時代以前の「は行」は「P」の発音だったらしい。

でも、奈良から室町時代までは「F」の発音に変わり、  
日本語の中から「P」の発音は消えていたとのこと。

「P」の発音が復活したのは江戸時代だそうです。

いつの日か「ら抜き言葉」が市民権を得て、正式な日本語として使われる時代がくるのかも・・・。

ただ、今は正しい日本語を子どもたちに伝え、残したいと考えます。私たち大人が、正しい日本語を日常的に使うよう気をつけていきましょう。

ちなみに、「常識」というのは、世の中のほとんどの人が納得したり、賛同したりする考えや理屈なのだそうです。「ら抜き言葉」を大半の人が使う時代が来ないことを願っている校長です。



### うれしい心遣い

最近、子どもたちの心遣いに感動することがいくつもありました。特別校時で掃除がない日に、3人の6年生が児童生徒玄関を掃いてくれたり、砂のついたキャップを洗っていると「手伝いましょうか？」と声をかけてくれたり。

このような言動が自然とできる子どもたちが、平岩小中学校にいます。気持ちはあっても言葉にできないだけの子どももいます。少しずつですが、確実に心も育っています。

### 積み重ねていかないと、 遠くの大きな目標は近づいてこない

イチロー選手が言えば、すごく納得できる言葉ですよ。

つい、途中であきらめてしまいそうになりますが、将来への道がいくつも用意されている子どもたちには、胸に刻んでおいてほしいと思います。

あ、その前に明確な目標をもつことが必要です。

### 10月の主な行事

1日(土) 日向地区中学校秋季体育大会  
～2日(日)  
6日(木) 生徒会役員選挙(6～9年)  
7日(金) 日向地区中学校秋季体育大会  
(陸上)  
11日(火) 振替休日  
12日(水) 脊柱側湾検査(5・8年)  
15日(土) 渚フェスティバル・鑑賞教室  
18日(火) 日向地区駅伝競走大会

19日(水) 中間テスト(7・8年)  
～20日(木)  
〃 実力テスト(9年)  
20日(木) 食育授業(3・5年)  
25日(火) オープンスクール  
〃 学校保健委員会・学校運営協議会  
26日(水) 校外クリーン作戦  
28日(金) 日向市陸上大会(6年)  
31日(月) 高校入試説明会(9年)